国土交通省東北地方整備局
Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

阿武隈川改修100年 SINCE 1919

記者発表資料

平成３０年　７月　６日
福島河川国道事務所

荒川の水質が記録更新
８年連続「水質が最も良好な河川」

～平成29年の国土交通大臣管理区間の河川水質調査結果から～

国土交通省では、昭和33年（東北地方：昭和35年）から一級河川（大臣管理区間）において水質調査を実施しています。
平成29年（1月～12月）の水質調査結果が発表（7月6日）され、荒川が８年連続で「水質が最も良好な河川」になりました。

【水質調査対象河川の条件と評価基準】

■全国の１６３河川のうち、以下の条件を満たす河川を対象とします。

・一級河川本川：国土交通大臣管理区間に調査地点が２つ以上ある河川。

・一級河川支川：国土交通大臣管理区間の延長が概ね１０ｋｍ以上で、かつ調査地点が２つ以上ある河川。

荒川：直轄管理区間延長13.0km、荒川橋と信夫橋の２地点で測定。

■各調査地点でのＢＯＤ（生物化学的酸素要求量）の年間平均値が0.5mg/l（環境省が定めるBODの報告下限値）である河川を、「水質が最も良好な河川」としています。

荒川のＢＯＤ　　H29：０．５mg/l　　（H28：０．５mg/l）

※ＢＯＤ（生物化学的酸素要求量）とは、水のよごれを表す指標の一つで、河川水に含まれる微生物が水中のよごれを分解する際に消費した酸素の量。

※８年連続での「水質が最も良好な河川」の維持は、流域の皆様の河川愛護意識の高揚、官民一体での水質改善への取り組みの成果と考えられます。引き続き、ご協力等お願いします。

※同日付で、国土交通本省（全国版）・東北地方整備局においても記者発表をしています。

＜＜発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ ＞＞

＜ 問い合わせ先 ＞
国土交通省　東北地方整備局　福島河川国道事務所
住　所：福島市黒岩字榎平３６番地
ＴＥＬ：０２４（５４６）４３３１（代表）
副所長（河川）　阿部（あべ）　誠司（せいじ）（内線２０４）
河川管理課長　平山（ひらやま）　清人（きよと）（内線３３１）

平成 29 年

全国一級河川の水質現況

Recent conditions of water quality of class A rivers in Japan

2017

平成 29 年水質調査結果
感覚的な水質指標による調査結果
水質事故等の状況

特集

岩木川水系

岩木川の水環境を改善する取組み（弘前城・津軽ダム）

「日本の清流」
佐波川 ［中国地方］

「清流」から生まれた名産品
留萌川 ［北海道地方］

「水質だより」
内川 ［北陸地方］

MLIT Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

表紙写真 「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」として紹介された「花筏」（青森県弘前市）【写真提供：公益社団法人 弘前観光コンベンション協会】

国土交通省
水管理・国土保全局

CONTENTS

DATA

科学的調査

平成 29 年水質調査結果

04 DATA 水質が最も良好な河川 2017
05 DATA 水質が最も良好な河川 2008-2017
06 DATA 過去 10 年間の水質改善状況
07 DATA 環境基準（BOD 等）の満足状況



感覚的調査

感覚的な水質指標による調査結果

09 DATA 泳ぎたいと思うきれいな川
10 DATA 感覚的な水質指標による調査結果参加者数
11 DATA 参加者数 BEST5 地点の紹介



水質事故等の状況

12 DATA 水質事故等の状況

特集

14 岩木川水系
岩木川の水環境を改善する取組み
（弘前城・津軽ダム）



Column

16 「日本の清流」［中国地方］佐波川
17 「清流」から生まれた名産品［北海道地方］留萌川
18 「水質だより」［北陸地方］内川



19 水難事故防止 ライジャケ・オン!

【科学的調査】 河川の汚濁状況等を科学的手法で行う調査
【感覚的調査】 ゴミの量や水のにおいなどを人の諸感覚を用いて行う調査

科学的調査

平成 29 年水質調査結果

公害問題が顕在化してきた昭和 40 年代以降、水質汚濁が進み、「汚い、臭い、遊べない」といわれる河川が全国に多くありました。国土交通省が河川の水質について、年単位（1 月～ 12 月）でのとりまとめを始めた昭和 46 年当時、BOD 平均値が 5.0mg/ ℓを超え、水質改善が急務であった地点は、一級河川の全調査地点の 27%を占めていました。

しかし、このような一級河川の水質も、これまでの排水規制、下水道整備、河川浄化事業等の推進により徐々に良くなっています。例えば、昭和 40 年代の多摩川は水質悪化が進み、洗剤の泡が浮く汚れた河川でした。昭和 50 年代後半には、アユの遡上が確認されるまでに水質が良くなり、近年では、清流といわれている四万十川の水質にも迫る良好な水質となっています。また、綾瀬川や大和川は、昭和 40 年代の都市化の進展に伴う水質汚濁が著しく、BOD 値が 30mg/ ℓを超えていましたが、水質改善の取組みにより確実に良くなりました。特に大和川では、平成 29 年の代表地点の BOD 値が 2.5mg/ ℓとなり、アユの遡上も確認されるようになっています。

こうした水質改善の背景には、排水規制や下水道整備のみならず、各地域や家庭での生活排水の汚れを減らす取組みや、流域でのクリーン活動等の啓発活動といった、流域の人々の様々な活動があります。これからも水質を維持・改善していくためには、このような各地域における努力を持続・発展させることが重要です。



水質が最も良好な河川 2017

平成 29 年の平均的な水質（BOD 値）が最も良好な河川は以下のとおりです。

BOD 値による河川の水質状況（水質が最も良好な河川）

地方名	河川名			都道府県名
北海道	尻別川	シリベツガワ	（尻別川水系）	北海道
北海道	後志利別川	シリベシトシベツガワ	（後志利別川水系）	北海道
北海道	沙流川	サルガワ	（沙流川水系）	北海道
東北 NEW	鮭川	サケガワ	（最上川水系）	山形県
東北	荒川	アラカワ	（阿武隈川水系）	福島県
東北	玉川	タマガワ	（雄物川水系）	秋田県
北陸	黒部川	クロベガワ	（黒部川水系）	富山県
近畿	熊野川	クマノガワ	（神宮川水系）	奈良県、和歌山県、三重県
中国	小鴨川	オガモガワ	（天神川水系）	鳥取県
中国	天神川	テンジンガワ	（天神川水系）	鳥取県
中国	佐波川 コラムに掲載 P16	サバガワ	（佐波川水系）	山口県
九州	厳木川	キュウラギガワ	（松浦川水系）	佐賀県
九州	本庄川	ホンジョウガワ	（大淀川水系）	宮崎県
九州	球磨川	クマガワ	（球磨川水系）	熊本県、宮崎県、鹿児島県
九州	川辺川	カワベガワ	（球磨川水系）	熊本県
九州	五ヶ瀬川	ゴカセガワ	（五ヶ瀬川水系）	大分県、宮崎県、熊本県

NEW：　過去 10 年ではじめて「水質が最も良好な河川」となった河川

【「水質が最も良好な河川」の定義】

以下の条件を満たす 163 河川のうち、各調査地点の BOD 年平均値による平均が 0.5 mg/ℓ（環境省の定める BOD の報告下限値）であるもの

- 一級河川（本川）：直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川
- 一級河川（支川）：直轄管理区間延長が概ね 10km 以上、かつ直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川

※湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点及びダム貯水池は含まない。

科学的調査

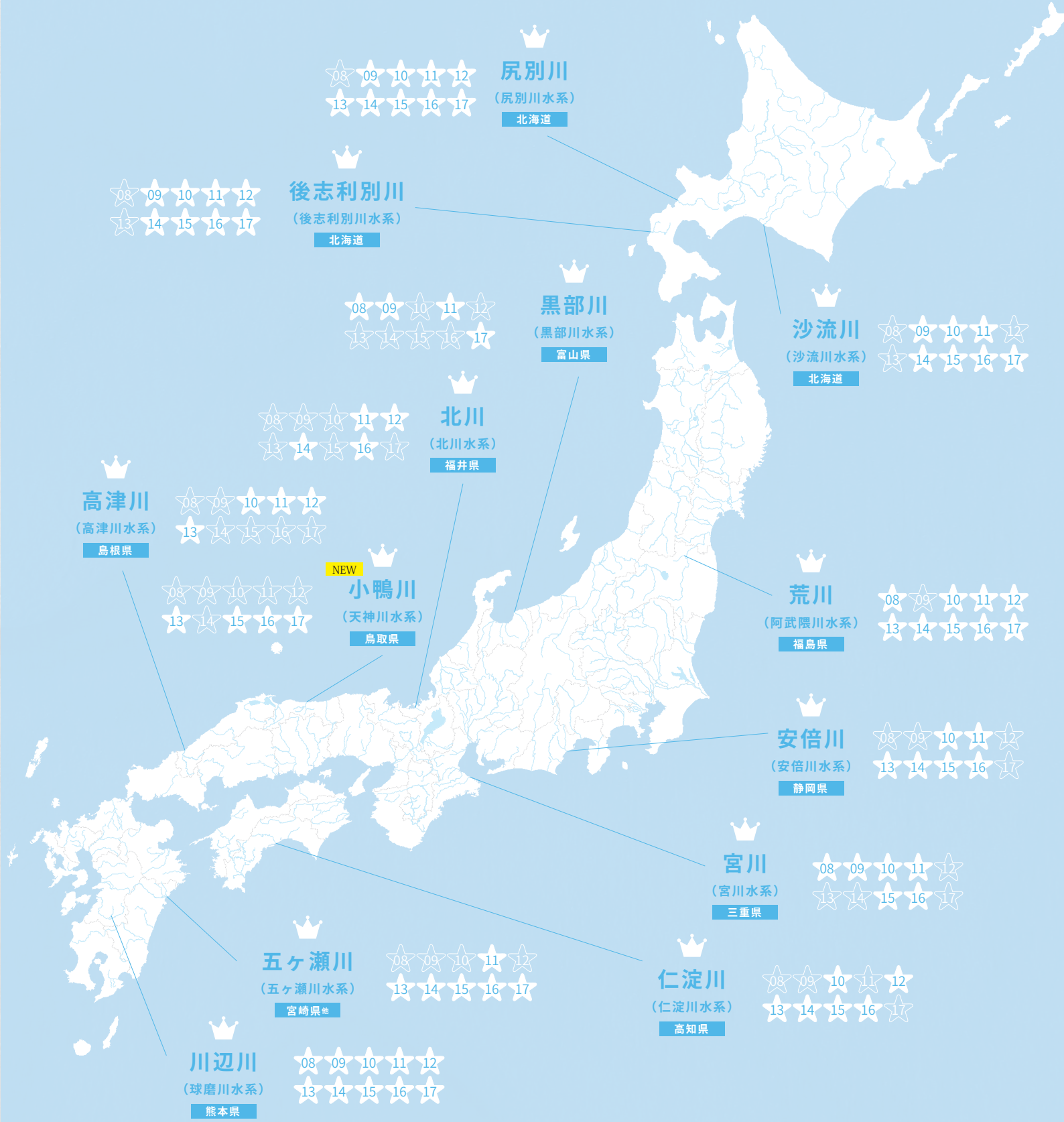
水質が最も良好な河川
2008 - 2017

平成 20-29 年水質調査結果

2008-2017 年（平成 20-29 年）の 10 年で、
4 回以上「水質が最も良好な河川」となった河川（13 河川）を紹介します

星印：「水質が最も良好な河川」となった年
（西暦下 2 桁）

08 09 10 11 12
13 14 15 16 17



平成 29 年

東北地方
一級河川の水質現況



Recent condition of water quality of class A river in Tohoku

2017

1．水質調査の概要
2．主要河川の地点別年平均水質
3．生活環境の保全に関する環境基準の満足状況
4．人の健康の保護に関する環境基準の満足状況
5．住民参加による水質調査
6．ダイオキシン類実態調査結果
7．内分泌かく乱物質実態調査結果
8．水質事故等の発生状況
9．河川ゴミ分類調査について

コラム

米代川

～地域と連携した
水環境向上への取り組み～

平成 29 年東北地方一級河川の水質現況

CONTENTS

１．水質調査の概要 ····· 01

２．主要河川の地点別年平均水質 ····· 02

３．生活環境の保全に関する環境基準の満足状況 ····· 03

４．人の健康の保護に関する環境基準の満足状況 ····· 04

５．住民参加による水質調査 ····· 05

　１）今後の河川水質管理指標による調査 ····· 05

　２）水生生物による簡易水質調査（水生生物調査） ····· 09

６．ダイオキシン類実態調査結果 ····· 10

７．内分泌かく乱物質実態調査結果 ····· 10

８．水質事故等の発生状況 ····· 11

９．河川ゴミ分類調査について ····· 13

コラム

米代川

～地域と連携した水環境向上の取り組み～ ····· 16

（参考資料）各調査地点（ＢＯＤ・ＣＯＤ）調査結果及び満足状況 ····· 18

１．水質調査の概要

東北地方整備局では、河川の適正な利用や河川環境の整備と保全等を図るために河川等の水質を定期的及び継続的に調査し、水質状況の監視および把握をおこなっています。

水質の変遷として、高度成長期には急速な都市化、工業化により全国的に公害問題が健在するなど自然環境の悪化が進行し、河川でも水質汚濁により「汚い、臭い、遊べない」と言われる河川が多くありました。その後の排水規制、下水道整備、河川浄化事業等の結果により、現在の水質は大幅に改善されています。

東北地方整備局では、昭和 35 年から一級河川（国土交通省大臣管理区間）において水質調査を実施しており、本資料で平成２９年１月～１２月の水質調査結果をご紹介します。

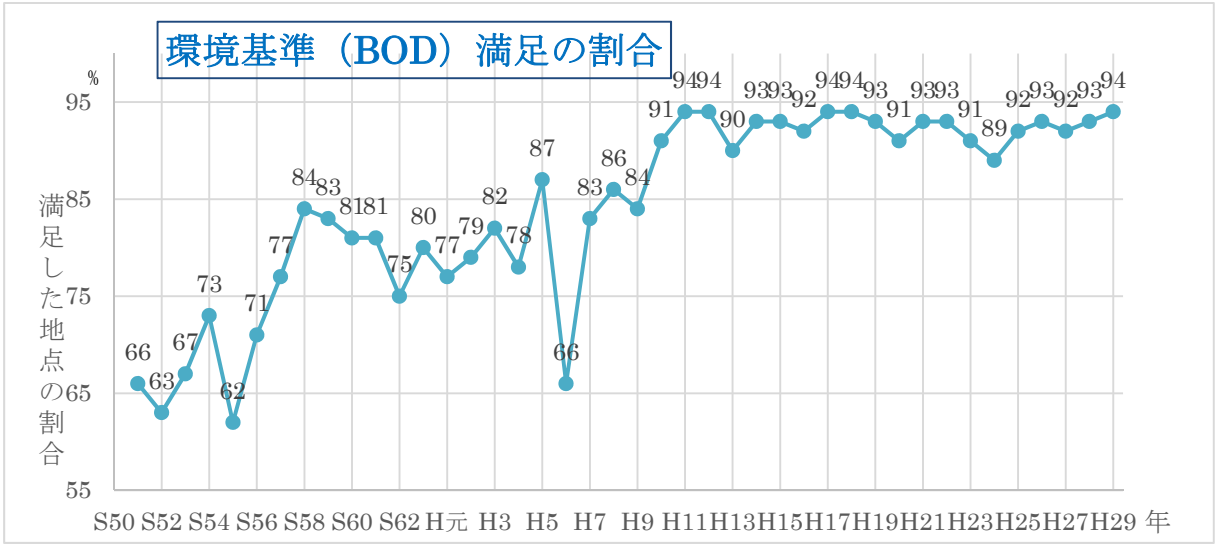
１）東北地方整備局管内　１２水系（全１５１地点で水質調査を実施）

（阿武隈川、名取川、鳴瀬川、北上川、馬淵川、高瀬川、岩木川、米代川、雄物川、子吉川、最上川、赤川）

水質調査地点数	地点数	合計地点数
河川	１２６	１５１
湖沼	６	
ダム湖	１９	

２）生活環境の保全に関する環境基準（BOD）の満足状況の経年変化

（東北管内１５１地点）



２．主要河川の地点別年平均水質

平成 29 年水質調査結果

- **阿武隈川水系荒川が８年連続で「平均的な水質（BOD 値）が最も良好な河川※」を維持**
- **雄物川水系玉川が２年連続で、Ｈ２９年は新たに最上川水系鮭川も「平均的な水質（BOD 値）が最も良好な河川」となりました。**

平成 29 年の東北地方 20 河川の地点別年平均値

水系名	河川名	河川全体BOD平均値	調査地点		各地点のBOD年平均値
			地点数	府県名	
阿武隈川	阿武隈川（あぶくまがわ）	1.4	7	宮城 福島	須賀川 0.9 阿久津 1.1 高田橋 2.0 黒岩 1.4 伏黒 1.1 丸森 1.8 岩沼 1.2
阿武隈川	荒川（あらかわ）	<0.5	2	福島	荒川橋 <0.5 信夫橋 <0.5
名取川	名取川（なとりがわ）	1.0	2	宮城	名取橋 1.1 閖上大橋 0.8
鳴瀬川	鳴瀬川（なるせがわ）	1.3	4	宮城	三本木 1.4 下中ノ目 1.1 南郷 1.5 小野 1.3
鳴瀬川	吉田川（よしだがわ）	1.3	2	宮城	落合 1.3 鹿島台 1.2
北上川	北上川（きたかみがわ）	0.9	16	岩手 宮城	船田橋 0.7 四十四田橋 0.7 南大橋 0.8 紫波橋 0.9 朝日橋 1.1 昭和橋 1.0 珊瑚橋 1.0 金ヶ崎橋 1.0 藤橋 0.9 狐禅寺 1.0 北上大橋 1.0 北上川橋 1.0 大泉 0.9 登米 0.8 飯野川 1.0 飯野川橋 0.8
北上川	旧北上川（きゅうきたかみがわ）	0.9	3	宮城	和渕 0.9 鹿又 0.8 門脇 0.9
北上川	江合川（えあいがわ）	0.7	4	宮城	轟 0.5 荒雄 0.9 短台 0.9 大深沢 0.5
北上川	和賀川（わがかわ）	0.8	3	岩手	山室橋 0.7 九年橋 0.8 切留 0.8
北上川	猿ヶ石川（さるがいしかわ）	0.7	3	岩手	落合橋 0.6 安野橋 1.0 谷内 0.6
北上川	胆沢川（いさわがわ）	0.6	3	岩手	再巡橋 0.7 下嵐江 0.5 望み大橋 0.5
馬淵川	馬淵川（まべちがわ）	0.9	3	青森	櫛引橋 0.9 尻内橋 0.9 大橋 0.9
岩木川	岩木川（いわきがわ）	1.2	12	青森	上岩木橋 0.9 安東橋 0.7 幡龍橋 1.0 鶴寿橋 1.4 乾橋 1.6 三好橋 1.6 神田橋 1.3 津軽大橋 1.3 十三湖大橋 1.2 十三湖中央 0.8 山田川河口 1.1 鳥谷川河口 1.0
米代川	米代川（よねしろがわ）	0.7	5	秋田	十二所 0.6 新真中橋(真中橋) 0.6 鷹巣 0.7 二ツ井 0.7 能代 0.7
雄物川	雄物川（おものがわ）	0.6	5	秋田	酒蒔橋 <0.5 雄物川橋 0.6 大曲橋 0.7 岳見橋 0.6 椿川 0.6
雄物川	玉川（たまがわ）	0.5	2	秋田	長野 0.5 玉川橋 0.5
子吉川	子吉川（こよしがわ）	0.6	2	秋田	宮内 0.6 本荘大橋 0.6
最上川	最上川（もがみがわ）	0.8	8	山形	糠野目 1.1 長井橋(小出) 0.9 谷地橋（下野） 0.9 碁点橋（稲下）0.9 堀内 0.8 高屋 0.6 砂越 0.7 両羽橋 0.6
最上川	鮭川（さけがわ）	0.5	2	山形	八千代橋 0.5 戸沢橋 0.5
赤川	赤川（あかがわ）	0.6	3	山形	東橋 0.5 蛾眉橋(横山) 0.6 新川橋(浜中) 0.6

表中の<は、定量下限値であることを示す。

※「平均的な水質が最も良好な河川」とは、以下の条件を満たす河川のうち、各調査地点の BOD 年平均値の平均が 0.5mg/ℓ（環境省の定める BOD の報告下限値）である河川としている。
・一級河川（本川）：直轄管理区間に調査地点が２以上ある河川
・一級河川（支川）：直轄管理区間延長が概ね 10km 以上、かつ直轄管理区間に調査地点が２以上ある河川